

born at dark night
夜に生まれた



lily hoshino presents
星野リリエ

b o r n a t d a r k n i g h t

夜に生まれた

★ contents

あとがき	歌唄い	香獣ラーラーガー	南の島の神様	夜に生まれた
.....
121	79	53	31	1



おい



おい...

何か言えよ



お前誰の魔獣だ？

主人と一緒にやない魔獣なんて珍しいな



なあ

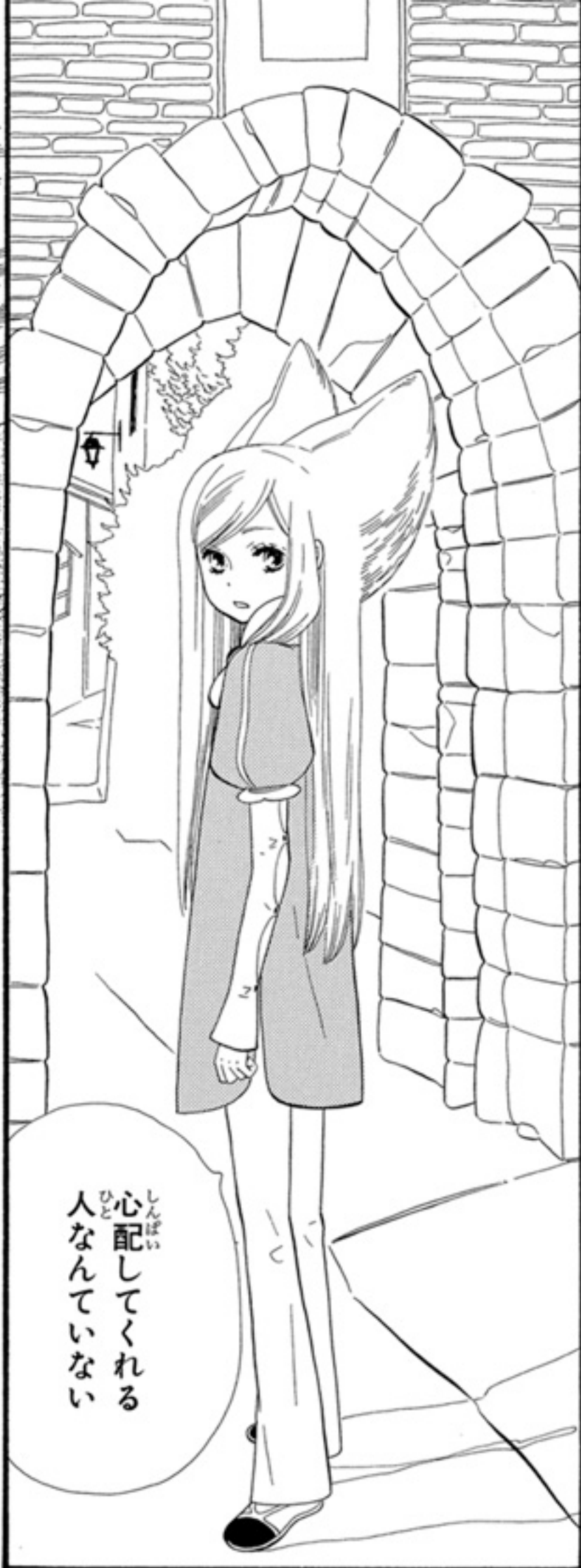
この土地のモンなら植物園への行き方知ってるか？



はあ

まあいいや





心配しんぱいしてくれ
る人ひとなんて
いない



すまん

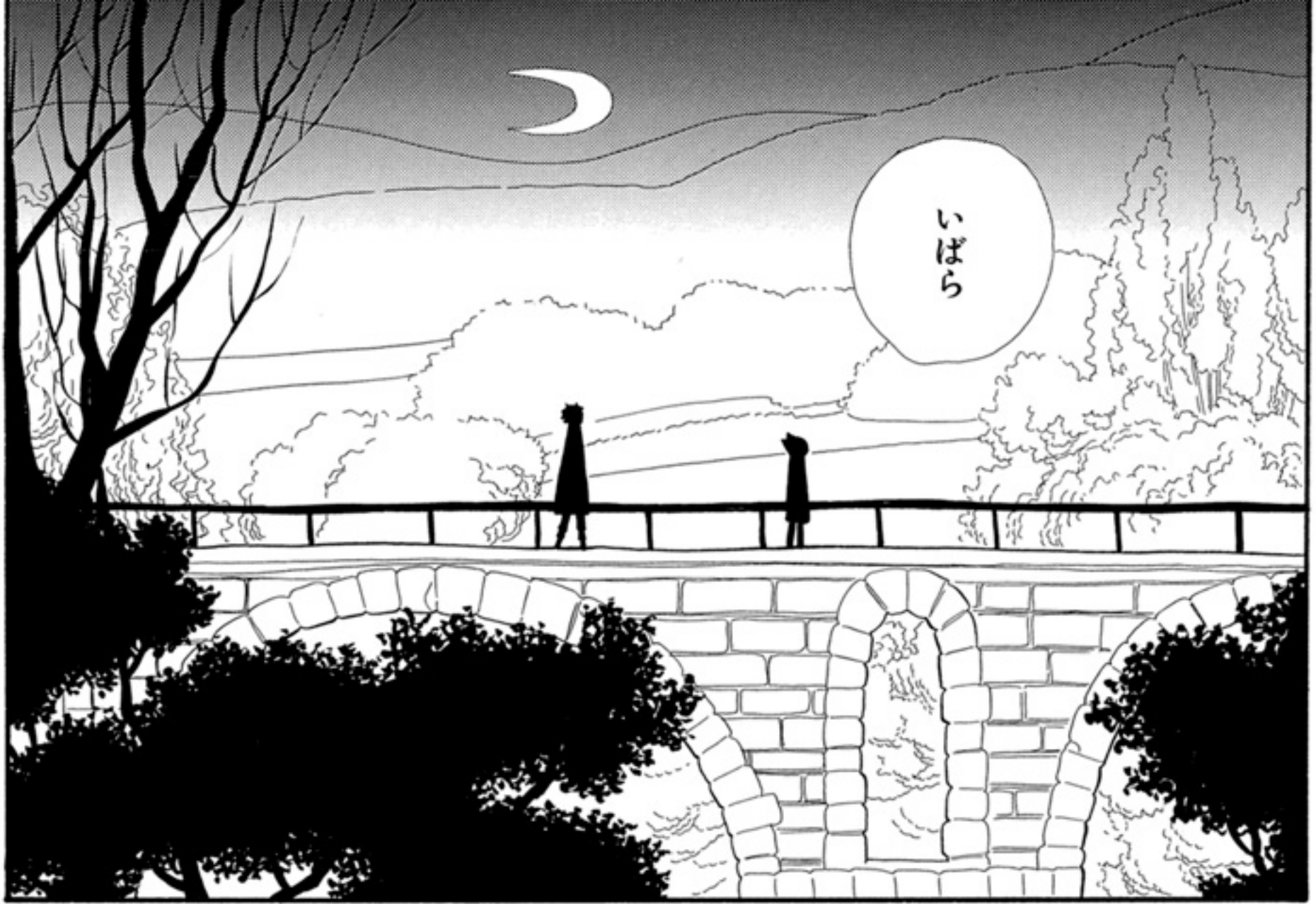
……



あなた
なまえ
の名前は？

ラクロ

お前は？
まえ



植物園には
魔獣を捜しに
行くの？

知ってるのか…

この街の人なら
みんな知ってる

夜の女王に
呪いをかけられた
小さな魔獣がいた。
触れた物を寶石に
変えてしまうという呪い。



「昔々」

!

夜の女王は
言った。

「本当にお前を愛してくれる
たった一人の誰かを除いて
全ての物を宝石に
変えてしまう呪いだよ」

「輝くお前になんて
おあつらえ向き」

だから魔獣は
ずっと一人ぼっち。

人々の目から逃れるように
丘の上の植物園で
一人ひっそりと生きていた。

そこへ
ひとり
人の魔法使いが
現れた。

魔法使いは
魔獣に優しかった。

魔法使いは
いつしか
こう思うようになった。

「この人こそが唯一の人
なんじゃないだろうか
だってこんなに優しく
してくれるもの…」

ある夜

魔法使いはこっそりと
魔法使いの
枕元へ立った。

ムム...

魔法使いは
あっという間に

一粒の宝石に
なってしまった。

それもそのはず
魔法使いの優しさは

魔獣が産み出す
宝石のためだけ
だったのだから…

悲しみに暮れた魔獣は
植物園の奥深くで眠りについた。

もう誰にも触れたりしない。
自分にとって唯一のその人が



目覚めさせに
来てくれる



その日かぞ...

